

● 序 章

序章

1. 策定の目的

本市は、平成16年3月に策定した「富士見市商業活性化ビジョン」（以下「第1次ビジョン」といいます。）に基づき、これまで商業振興施策に取り組んできました。

第1次ビジョンは、「活気と魅力のある街 ふじみ商業まちづくり」を将来像に掲げ、4つの基本目標を掲げていましたが、策定後10年を経過し、この間、鶴瀬駅、ふじみ野駅周辺の区画整理事業の進捗によるまちづくりが進んだ一方で、本格的な人口減少、少子化や高齢化の進展や、消費者の買い物行動の多様化など、商業を取り巻く環境も大きく変化しています。

また、平成27年春には大型商業施設が開店し、市内での商業集積力や商業の魅力が強化されますが、既存の個店・商業集積地（商店街等）も含めた、新たな商業振興の方向性を考えなければなりません。

そこで、これまでの10年間の成果を踏まえ、事業者や消費者ニーズにあった商業活性化の基本方針を明らかにするとともに、実行性のあるアクションプランを位置づけ、地域商業の振興や大型商業施設の立地に伴う相乗効果を発揮させることを目的として、「富士見市第2次商業活性化ビジョン」（以下「第2次ビジョン」といいます。）を策定しました。

2. 位置づけ

第2次ビジョンは、上位計画である「富士見市総合計画（第5次基本構想・中期基本計画）」の基本目標の一つに位置づけられた「にぎわいと活力をつくるひとのまち」の実現に向けた商業に関する分野別計画です。

また、「富士見市産業振興条例」に基づき、それを具現化するための市全体の商業活性化の方向性を示すとともに、施策の展開に向けたアクションプランを示しています。

3. 構成と期間

第2次ビジョンは「序章」、「富士見市商業の現状と課題」、「商業活性化の基本方針」、「商業活性化アクションプラン」、「第2次ビジョンの推進に向けて」で構成され、計画期間は、平成27年度（2015年度）から平成31年度（2019年度）までの5か年間とします。

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
富士見市総合計画 基本構想（10か年）	→					
基本計画（前期5か年）	→					
基本計画（中期5か年）	→					
基本計画（後期4か年）		→				
第2次富士見市商業活性化ビジョン	→					

